

# 和泉短期大学図書館報

第22号

編集・発行 和泉短期大学附属図書館

2010年3月18日発行 〒229-8522 相模原市青葉2-2-1 TEL 042-754-1133

下写真

図書館が全面リニューアルされました（関連記事P.2）



## 数字でみる和泉短期大学附属図書館 2008年度

蔵書数 59,875 冊

(全国短大平均 61,000冊)

所蔵雑誌 112 タイトル

所蔵視聴覚資料 1,710 点

整理図書冊数 2,717 冊

学生一人当たり蔵書数 101 冊

図書館資料費 505 万円

(全国短大平均 554万円)

学生一人当たり資料費 0.9 万円

年間貸出冊数 9,554 冊

(全国短大平均 5,659冊)

学生一人当たりの貸出冊数 17 冊

資料費に対する学生への還元率 約4.8倍に還元

全国短大平均値は『「日本の図書館」統計と名簿2008』（図書館調査事業委員会編 日本図書館協会）による。



## 図書館が全面リニューアル



図書館が、2009年5月に全面リニューアルされました。木の風合いを主調とした明るい閲覧席と貸出・返却カウンター、全体に柔らかい光の色に刷新された全館の照明、新聞・雑誌コーナーには新しいイスも入り、さらに快適性がアップしました。(2010年3月には新しい書架も追加され、就職・資格関連の棚が独立するなど、一層使いやすくなりました。)

木目調の入口ドアを入ると、そこは、絵本や紙芝居、保育・幼児教育・福祉関連図書の宝庫。卒業生が毎週のように訪れる“卒業しても通いたい図書館”です。在学生からは「静か」で「居心地のいい」場所として、勉強だけでなく、普段ふらりと訪れて図書館スタッフと何気ない話をする人もいて、学内の憩いの場にも利用されています。

【図書館では、保育／幼児教育／福祉の現場で活躍中の卒業生の皆さんへの貸出サービスを行っています。

・・・詳しくは図書館まで・・・】



## 紙芝居の会 開催

11月14日、図書館主催の「紙芝居の会」が開催されました。講師は紙芝居実演家・菊池好江先生。紙芝居実演のコツを教えて頂いただけでなく、紙芝居と絵本の違い、特にそれぞれの特徴に応じた使い方などを、大変分かりやすく話して下さいました。

初めての実習を控えていた1年生にとっても、間もなく保育現場に立つ2年生にとっても、大変役に立つ内容でした。しかし何よりも、専門家の素晴らしい実演に直接触れることができたことは、保育・幼児教育・児童福祉をめざす本学の学生たちにとって大変貴重な体験となりました。



# 『しゅくだい』は“だっこ”



専任講師：齋藤 純

私が和泉短期大学を卒業し、保育士一年目から所属する研究会(子どもの遊びと手の労働研究会)があります。その研究会の全国大会が毎年夏に開催されます。2009年の夏も、大会に参加しました。そこで、一人の小学校教員の実践報告を聞く機会を得ました。

先生は私たち参加者に、一冊の絵本を読み聞かせてくれました。『しゅくだい』(原案/宗正美子, 文・絵/いもとようこ, 岩崎書店, 初版/2003)という絵本を読んでもらううちに、私は自然と涙があふれました。周囲を見回すと、急いでハンカチを取り出す人、鼻をかむほど泣いている人などが見られました。絵本『しゅくだい』の中で、めえこせんせい(ヤギ)は子どもたちに“だっこ”の宿題を出します。絵本は、家の人に抱っこをしようという宿題を出された、もぐ(もぐら)がどうするか…という内容になっています。実践報告をされた先生は、この絵本を題材に、小学校2年生でも同じ宿題を出してみたそうです。いつも



抱っこしてもらっている子、久しぶりに抱っこしてもらった子、お父さんとお母さん両方に抱っこしてもらった子、「かわいい」「だいすき」という言葉と共に抱っこしてもらった子、どの子どもも幸せに包まれたようです。

子どもが赤ちゃんの時は、抱っこやおんぶをしてもらう機会があります。しかし大きくなり、弟や妹が生まれると途端にその機会は激減します。「大きくなったんだから」「お兄ちゃん(お姉ちゃん)になったんだから」と、いつの間にか抱っこやおんぶをしてもらえなくなります。でも、子どもは大好きな人に抱っこをしてもらうことによって、「〇〇ちゃんはいじい」というメッセージを体いっぱいを感じ取ることができるようです。

保育現場で新しい一步を踏み出そうとする学生にも、ぜひ読んで欲しい一冊です。そして出会う子どもたちに、言葉と態度で「だいじよ」「だいすきよ」という思いを注いで欲しいと思います。



# 「本の世界」



私にとって本とは、新しい世界に行く為の切符です。本を読めば読む程、その世界に浸る事ができ、目の前に自然と見えてくる景色にとっても魅力を感じます。

以前、私は漫画を読む事が好きで、本を読む事はあまりありませんでした。本は字が主体で、読んでいてつまらないと思ったからです。そんな私が、多くの本を読むようになったきっかけは、図書館で偶然ある本のタイトルが目に入ったからでした。何となく手に取って最初のページを開くと、ほんの少し文章を読んだだけで、突然その世界に自分がいるような感覚に襲われ

2年 高橋 杏奈

ました。文章を通して、ワクワクするような「別世界」に入り込むこの感覚が楽しくなり、以来、本を読む事が多くなりました。

本は文字ばかりで、読むと眠くなったり疲れてしまう、と感じる人がいるかも知れません。しかし、実は文章を通して様々な世界やものが見えてきます。それが本の「作品世界」です。この世界は、作者の文章と自分の想像力によって作られます。だからその世界は、読む人ごとに全部違うのです。この世界を見る事を、私は一種の旅行だと思っています。絵によって世界が固定されてしまう漫画では、決して味わえないこの旅行を、ぜひ多くの人に楽しんでもらえたらいいなと思っています。



## とじよかんインフォメーション

### 和泉の先生方で推薦の図書

本学の先生方に、学生の皆さんにお薦めしたい本を1冊ずつ推薦していただきました。

ご推薦文と一緒に、本を館内に展示しましたので、ぜひ一度手にとってご覧下さい。

#### コルチャック先生のいのちの言葉

— 子どもを愛するあなたへ —  
(ヤヌシュ・コルチャック 著)

#### 床下の小人たち

(メアリー・ノートン 著)

#### 子どもの睡眠 ～ 眠りは脳と心の栄養 ～

(神山 潤 著)

#### おいしいのぼうけん

(古田 足日、田畑 精一 著)

#### 生きがいの創造

— "生まれ変わりの科学"が人生を変える —  
(飯田 史彦 著)

#### 「自分の木」の下で

(大江 健三郎 著)

#### 親の発達心理学

(柏木 恵子 著)

#### 障害をもつ子を産むということ

(野辺 明子、加部 一彦、横尾 京子 著)

#### 聖書物語

(レギーネ・シントラー、シュチエパン・ザヴセル 著)

#### 子を愛せない母 — 母を拒否する子

(ヘネシー・澄子 著)

#### 絵本からの贈りもの

(長山 篤子 著)

#### わかってほしい

(MOMO、YUKO 著)

人生に効く  
サプリメント  
聖書のことば240  
(フォレストブックス  
編集部 著)

